

事務事業 No./名称	■サービス部門 都整-11 交通安全対策事業				ザイムスコード及び個別事業名		
	主管課	道路整備課	関連課			1032(政策)	あんしん歩行エリアの整備
分野名	道路整備				〃	交差点の改良	
目標 (目標値)	人と環境にやさしい道路の整備				〃	移動円滑化特定経路の整備	
人口等の データ	データ区分	21年度	20年度	備考 ・各年4月1日 (住民基本台帳)			
	人口	176,669人	176,484人				
	世帯数	78,131世帯	77,430世帯				
運営資源 状況	決算値	45,485千円	22,378千円				
	(国・県)	5,821千円	14,153千円				
	(負担金等)						
	(一般財源)	39,664千円	8,225千円				
	人員配置数	1.3人	1.1人				
	人件費	11,976千円	10,315千円				
	協働の パートナー						
事務事業 運営経費	総事業費	57,461千円	32,693千円				
	市民1人当 りの経費	325円	185円				
	対象者1人 当りの経費						
ベンチマー ク(県内外自 治体や民間 団体との比 較値)	団体名						
創意・工 夫・課題等 改善状況	課題・問題 点	(21年度事務事業を実施するうえでの課題・問題点は、どのようなことでしたか) ・安全に通行可能な歩行空間の整備として、カラー化や視覚障害者誘導ブロックの設置等を実施した。その際、狭く限られた道路区域の中での施工のため、安全対策などについて関係者等の理解と協力を得るまでに時間を要した。					
	創意・工 夫・課題等 の改善点 21年度の 成果	(課題・問題点についてどのような創意工夫、改善をしましたか。また、どのような成果がありましたか) ・交通誘導員の配置などの強化を行うことで、関係者等の調整日時の短縮が図られた。					
	未解決の課 題・問題点	(21年度事務事業の取組において対応(解決)できなかったものはどのようなことですか) ・国の補助事業であることから、材料の使用に関する制限等もあり、一般的な整備に留めざるを得なかった。					
	今後の方針 (対応・改 善)	(上記対応できなかった課題・問題点について今後どのように対応(改善)していきますか) ・計画段階から地権者等へ十分に説明を実施し、理解と協力を得て、円滑に事業実施できるように努める。					
一次評価(課長評価)				二次評価(部長評価)			
A:充実又は拡大 B:現状のまま継続 C:統合又は縮小 D:廃止又は休止 E:事業完了							
評価結果	改善の必要性	改善の必要性			評価結果	改善の必要性	
B	有	歩行者の交通環境の整備改善を図る必要があることから、関連事業及び他事業とも密接に連携し、より効率的な整備を実施する。			B	有	
課長名		道路整備課長 館下優三			部名・部長名		
					都市整備部 山内廣行		